

今すぐ
対策を!



地震による 電気火災 対策を!

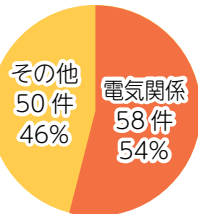
消防本部

☎ 25 2821

感震ブレーカーが 効果的です

東日本大震災における本震による火災全 111 件のうち、原因が特定されたものが 108 件で、過半数の 58 件が電気関係の出火でした。

(日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より)



地震が引き起こす 電気火災とは

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

感震ブレーカーとは

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

感震ブレーカーの種類



分電盤タイプ (内蔵型)

- 分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断
- 約5~8万円 (標準的なもの)
- 電気工事が必要



コンセントタイプ

- コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断
- 約5,000~2万円
- 電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある



分電盤タイプ (後付型)

- 分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能
- 約2万円 (標準的なもの)
- 電気工事が必要



簡易タイプ

- ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断
- 約3,000~4,000円
- 電気工事が不要



感震ブレーカーを
設置して、電気火災から
家や地域を守りましょう

[設置にあたっての注意事項]

- 分電盤タイプなどのように、地震発生時に家庭内の全ての電気を遮断するものについては、医療機器などへの影響が考えられるため、設置にあたっては注意が必要です。
- 夜間に地震が発生した場合に照明が消えることで、屋外への迅速かつ安全な避難の妨げになることも考えられるため、非常灯を準備しましょう。